

普及活動情勢報告（平成26年11月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

高知市に新たな有望品目を！スナップエンドウの現地検討会を開催



高知市長浜地区では、新たな品目としてスナップエンドウの栽培に取り組んでおり、開花が多くなってきた11月5日に、生産者3名全員の参加により現地検討会を開催しました。

普及所からは、スナップエンドウの収穫期の栽培管理や病害虫防除について説明しました。

参加した生産者同士が情報交換したり、出荷についての意見を出したりするなど活発で有意義な検討会を行うことができました。

普及所では、引き続き関係機関と連携しながら、栽培管理を指導し産地化を支援していきます。

水稻地域の振興をめざして勉強会！ 介良沖ノ丸環境保全農業組合



11月10日、水稻栽培の向上と農地等に関する各種事業について、組合員16名が高知市農林水産課など関係機関を交え勉強会を開催しました。

普及所から、「水稻の坪刈り調査結果から穂数の増加や白未熟の防止など今後の取り組み課題」の提案や「環境保全型直接支払制度と農地中間管理事業」を説明し、市から人・農地プラン（変更）の説明とアンケート調査がありました。組合員からは活発な質問や意見が出され、人・農地プランの変更も承認されました。

普及所では、今後も地域営農を維持発展していくため、関係機関と協力して勉強会等の開催を支援します。

梨老舗産地のさらなる発展を目指して！針木梨組合の勉強会



11月19日に組合員のナシ栽培技術向上を目的に、組合員21名が参加し、果樹試験場やJAも交えて勉強会を開催しました。

普及所からは、「コナカイガラムシ類の防除と対策」と「ナシの棚への遮光塗料試験及び袋掛けの試験」の説明を行いました。

組合員からは質問も多く出され、有意義な勉強会となりました。

今後も普及所は関係各機関と連携しながら、針木梨組合の技術の向上を目指して支援してきます。

春野地域の課題解決のために！JA香川県の取り組みを視察



取り組みの説明を受ける参加者

JA高知春野では、担い手確保や耕作放棄地対策、直販所の改善を検討しており、その一環として、11月20日、JA関係者と普及所の計19名で、JA香川県の新規直販所「讃さん広場」と仲多度地区営農センターの取り組みを視察しました。

普及所は営農センターとの視察の調整を行い調査にも同行しました。「讃さん広場」では出品内容等を調査し、営農センターではJA独自の担い手育成システム等について説明を受け、今後春野町での推進方策を考えるうえでよい機会になりました。

普及所では、これからも地域の課題解決ため、先進事例を参考にしながら、関係機関の取り組みを支援していきます。